

スマホ決済サービス「SKIYAKI PAY」Android版リリース！ 「岡崎体育」全国ツアーでの導入も決定！ イベント会場でのグッズ購入もbitfanに反映可能に！

アーティスト・クリエイターのファンクラブ、ファンサイトの企画・制作・運営を行う、“FanTech”分野(※1)のパイオニア、株式会社SKIYAKI（本社：東京都渋谷区、代表取締役：宮瀬卓也、以下「SKIYAKI」）は、2018年3月12日(月)より、スマホ決済サービス「SKIYAKI PAY（スキヤキペイ ※URL：<https://pay.skiyaki.tokyo/>）」のAndroid版をリリース致しました（iOS版は2018年2月15日にリリース済）。



SKIYAKI PAYでは、販売者さまには商品管理と在庫管理のシステムを提供し、購入者さまにはスマートフォンのみで簡単に決済できるサービスを提供することで、販売者さま、購入者さまがそれぞれ抱えていた問題を解決致します。

また、SKIYAKI PAYは当社が先日リリースしたファンの熱量を可視化するサービス「bitfan（URL：<https://bitfan.skiyaki.tokyo>）」に対応しており、これまで取得できなかった購入者さま（ユーザー）の購買データを「ファンの熱量」として計測することができます。

さらに、3月25日よりスタートする、JINRO presents 岡崎体育ワンマンツアー「密着！謎のメンタリストRYOMAを追い！」の会場におけるグッズ販売での決済方法として全面導入されることが決定致しました。



来場したお客様は、岡崎体育ファンクラブ「Wallets」に登録してあるものと同じメールアドレスで、SKIYAKI PAYにご登録頂き、会場でグッズを購入する際に代金をSKIYAKI PAYで支払って頂くことで、購入履歴をbitfanに送ることが出来ます。これにより、お客様がご利用頂いた金額がbitfanに集計され、アーティストへの想いをカタチすることが可能になります。

当社では今後、SKIYAKI PAYが利用出来る場面を増やしていくことでイベント会場でのスマートな物販体験を提供していくとともに、代金のお支払い方法としてbitfanをご利用頂きこれまで取得出来ていなかった「現地のファンの熱量」を可視化していくことで、アーティスト・ファン双方にメリットのある新しい経済圏の実現を推進して参ります。

■SKIYAKI PAY

Android URL : <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.tokyo.skiyaki.SkiyakiPay&hl=ja>

iOS URL : <https://itunes.apple.com/jp/app/id1339989106?l=ja&ls=1&mt=8>

■イベントこそキャッシュレス「SKIYAKI PAY」

URL : <https://pay.skiyaki.tokyo/>

■JINRO presents 岡崎体育ワンマンツアー「密着！謎のメンタリストRYOMAを追え！」詳細

URL : <https://okazakitaiiku.com/contents/138896>

【会社概要】

社名：株式会社SKIYAKI

所在地：東京都渋谷区道玄坂1-14-6 ヒューマックス渋谷ビル 3F

代表者：宮瀬 卓也

資本金：553百万円（2017年12月31日現在）

事業内容：プラットフォーム事業、コンサート・イベント制作事業、旅行・ツアー事業

■Corporate：<https://skiyaki.com/>

■Facebook：<https://www.facebook.com/SKIYAKIInc>

■twitter：https://twitter.com/SKIYAKI_pr

当社は、クリエイティブクラスの代表であるアーティストやクリエイターの活動によって世の中がさらに豊かになると考え、その活動を支援するファンクラブ公式サイト制作、運営及び公式グッズECサイト、電子チケットサービスなどの開発を手がけております。当社がアーティストやクリエイター、企業、およびファンの皆様から必要とされる存在であるために、私たち自身もクリエイティブクラスでありたいという思いから、「創造革命で世界中の人々を幸せに」という企業理念のもと、全員が働きがいを感じ、成長し続けることができる環境づくりを推進しております。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社SKIYAKI 広報担当

東京都渋谷区道玄坂1-14-6 ヒューマックス渋谷ビル 3F

TEL：03-5428-8378

E-mail：info@skiyaki.com

(※1) “FanTech”とは、“Fan×Technology”を意味する造語。時代にあったテクノロジーを用い、ファンとアーティスト、クリエイター、企業など創造主との新しい関係を生み出し、これまでにない付加価値を生み出す動きのことを指します。